

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	技術	科目		期間	1学期前半
中高・学年	中学校3年	授業時数 期間/年間	2 / 18	副教材 1	
副教材 2		副教材 3		副教材 4	

年間の到達度目標	実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。(ものづくり及びコンピュータに関する学習を通して将来の人間形成に生かされる技術的素養の育成をめざす。)
----------	--

到達度目標 (含定期テスト)	エネルギー変換を利用した製作品のエネルギー変換方法を理解させ、適切な電気回路を選択して設計・製作ができる力を身に付けさせる。			
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法
4	わたしたちの生活とエネルギー	自然界のエネルギー資源をどのように生活に生かしているか調べる。	電気エネルギーの利用方法について生活と結びつけて考えようとしている	ワークシート
	電気エネルギーの変換とその利用を知る	電気を使うしくみを学ぼう	基本的な構成が理解できる	ワークシート
		電気エネルギーを他のエネルギーへの変換(動力・光・熱)	電気機器を分類し、それぞれの特徴を理解できる	
5	電気エネルギーの変換とその利用を知る	製品の用途や使いやすさを考える	強度や安全面から材料の使い方を理解している	ワークシート
		機能と丈夫な構造を考える		
	使用する材料や部品の特徴をまとめる	積極的に実験に取り組もうとしている	観察	
指導方法の工夫改善等	視聴覚機器・教材の活用，ワークシートの活用			
課題・提出物等	ワークシート			
未到達者への対応				
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動等との関連等	情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成			

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	技術	科目		期間	1学期後半(期末試験)
中高・学年	中学校3年	授業時数 期間/年間	4/18	副教材 1	
副教材 2		副教材 3		副教材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		機器の用途や性能との関係について理解させ、機器の保守点検と漏電、感電などの事故防止ができる力を身に付けさせる。エネルギーの変換を利用した製作品のエネルギーの変換方法や適切な電気回路を選択して設計・製作ができる力を身に付けさせる。			
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解		主な評価方法
5	機器の保守点検のしかたを調べよう	電気を安全に使う方法を調べる	安全に使用する方法を考えることができる		ワークシート
		機器の保守点検のしかたを調べる	適切な保守点検ができる		行動観察
6	製品の製作「製作の準備」	製作の工程表を作成する	製作に関心をもち、進んで製作計画を立てようとしている		行動観察
7	部品加工	自分の計画にしたがい製作を行う	工具や機器を使って部品加工を行うことができる。作業の能率が上がるように工具の使い方を工夫している		行動観察
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用，ワークシートの活用			
課題・提出物等		ワークシート			
未到達者への対応		放課後を活用して補充学習			
総合的な学習の時間，道徳(教育)，特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成			

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	技 術	科 目		期 間	2 学期前半
中 高 ・ 学 年	中 学 3 年	授 業 時 数 期 間 / 年 間	3 / 1 8	副 教 材 1	
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		エネルギーの変換を利用した製作品のエネルギーの変換方法や適切な電気回路を選択して設計・製作ができる力を身に付けさせる				
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解			主な評価方法
9	部品加工	部品の組み立てを行う	工具や機器を使って部品加工を行うことができる 作業の能率が上がるように工具の使い方を工夫している			行動観察
		部品の組み立てを行う	工具や機器を使って部品加工を行うことができる 作業の能率が上がるように工具の使い方を工夫している			行動観察
	製品の仕上げ	組み立て後の検査と修正を行う	回路計を適切に使って検査ができる			行動観察 作 品
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用				
課題・提出物等		作 品				
未到達者への対応						
総合的な学習の時間,道徳(教育),特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成				

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教科	技術	科目		期間	2学期後半（期末試験）
中高・学年	中学3年	授業時数 期間/年間	4 / 18	副教材 1	
副教材 2		副教材 3		副教材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		応用ソフトウェアを利用した処理の方法を通して、情報を適切に処理することができる力を身に付けさせる。			
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法	
10	エネルギーの変換を利用した製品をつくろう	運動の仕組みの検討	目的の動きをしない場合に、原因を探り各部を調整しようとしている	行動観察	
		機械モデルを操作しよう	ロボットの機構が生かされる操作ができています	行動観察	
11	表計算を試みよう	表計算ソフトの機能	表を作成することができる	作成プリント	
		表やグラフ作成	作成した表からグラフを作ることができる	作成プリント	
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用			
課題・提出物等		作成プリント			
未到達者への対応		放課後を活用して補充学習			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成			

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	技術	科目		期間	3学期(学年末試験)
中高・学年	中学校3年	授業時数 期間/年間	5 / 18	副教材 1	
副教材 2		副教材 3		副教材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		情報の伝達方法の特徴と利用方法を知り、情報を収集・判断・処理し発信ができる力を身に付けさせる			
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法	
12	表計算をしてみよう	表やグラフ作成	用途に応じてグラフを選択することができる	作成プリント	
1	マルチメディアの活用	マルチメディアを活用する手順を考えよう	マルチメディアの利用例について、様々な資料を用意し、進んで調べようとしている	行動観察	
2	マルチメディアの活用	情報の表し方を検討しよう	自分の考えや思いをマルチメディアで表現する手順を考えることができる	行動観察 ワークシート	
		画像や音を入力,編集しよう	応用ソフトウェアの機能を効果的に利用して情報の処理の仕方工夫することができる	行動観察 ワークシート	
3	マルチメディアの活用	マルチメディア作品を完成させよう	作品を評価したり,評価をもとに修正することができる	行動観察 作品	
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用,ワークシートの活用			
課題・提出物等		ワークシート,作品			
未到達者への対応		放課後を活用して補充学習			
総合的な学習の時間,道徳(教育),特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成			

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（年間指導項目）

教科	技術科
科目	
中高・学年	中学校・3学年
単位数	
年間授業時数	18時間

教科書	東京書籍
副教材1	
副教材2	
副教材3	
副教材4	

到達度目標
実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。（ものづくり及びコンピュータに関する学習を通して将来の人間形成に生かされる技術的素養の育成をめざす。）

備考
日本語ワープロ検定 3級以上を取得（80%） 表計算検定4級を取得（80%）

指導期間	1学期前半（中間試験）				1学期後半（期末試験）				2学期前半（中間試験）				2学期後半（期末試験）				3学期（学年末試験）					
到達度目標 (含選択)	エネルギー変換を利用した製作品のエネルギー変換方法を理解させ、適切な電気回路を選択して設計・製作ができる力を身に付けさせる。				機器の用途や性能との関係について理解させ、機器の保守点検と漏電、感電などの事故防止ができる力を身に付けさせる。 エネルギーの変換を利用した製作品のエネルギーの変換方法や適切な電気回路を選択して設計・製作ができる力を身に付けさせる。				エネルギーの変換を利用した製作品のエネルギーの変換方法や適切な電気回路を選択して設計・製作ができる力を身に付けさせる。				応用ソフトウェアを利用した処理の方法を通して、情報を適切に処理することができる力を身に付けさせる。				情報の伝達方法の特徴と利用方法を知り、情報を収集・判断・処理し発信ができる力を身に付けさせる。					
標準テスト等の目標																						
学 習 項 目	時間	主たる指導項目	教 科 書 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 科 書 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 科 書 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 科 書 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 科 書 頁	副 材 頁		
		<b>わたしたちの生活とエネルギー</b>				<b>機器の保守点検のしかたを調べよう</b>				<b>部品加工</b>				<b>エネルギーの変換を利用した製品をつくろう</b>				<b>表計算をしてみよう</b>				
	1	自然界のエネルギー資源をどのように生活に生かしているか調べる	82-83		1	電気を安全に使う方法を調べる	77-79		1	部品の組み立てを行う	100-101		1	運動の仕組みの検討	92-93		1	表やグラフ作成	152-153			
		<b>電気エネルギーの変換とその利用を知ろう</b>												<b>マルチメディアの活用</b>								
	1	電気を扱うしくみを学ぼう	84-85		<b>製品の製作</b>				<b>製品の仕上げ</b>				<b>表計算をしてみよう</b>									
		電気エネルギーを他のエネルギーへの変換（動力・光・熱）			<b>製作の準備</b>				3 組み立て後の検査と修正を行う				100-101		3	表計算ソフトの機能	152-153		2	マルチメディアを活用する手順を考えよう	180-181	
	2	製品の用途や使いやすさを考える	88-89		2	製作の工程表を作成する	150-151							4	表やグラフ作成	152-153		3	情報の表し方を検討しよう	182-183		
		機能と丈夫な構造を考える	90-91		3	製作の工程表を作成する	150-151											4	画像や音を入力、編集しよう	184-185		
		使用する材料や部品の特徴をまとめる	92-93		<b>部品加工</b>													5	マルチメディア作品を完成させよう	186-187		
					4	自分の計画にしたがい製作を行う	100-101															
備考					授業ノートの提出（期末試験日） 日本語ワープロ検定3・4級（7月上旬）				日本語ワープロ検定3・4級（10月上旬）				授業ノートの提出（期末試験日） 日本語ワープロ検定3級以上（12月上旬）				授業ノートの提出（期末試験日） 表計算検定4級（2月中旬）					